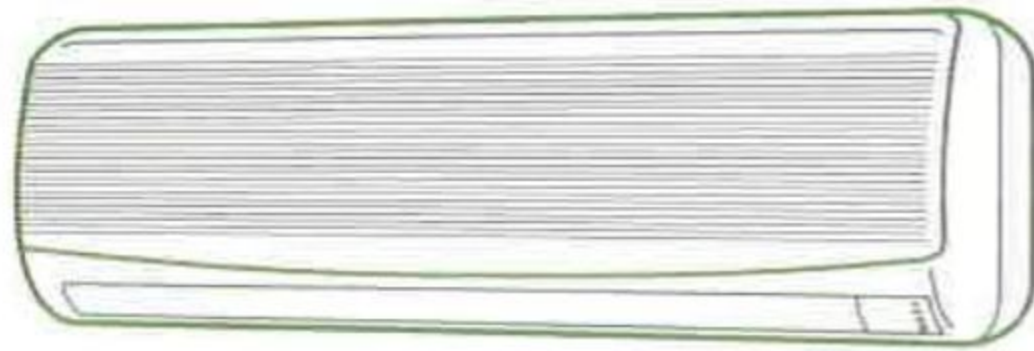


東芝ルームエアコン 家庭用 取扱説明書



室内ユニット	室外ユニット
形名	形名
RAS-2252SV	RAS-2252ASV
RAS-2552SV	RAS-2552ASV

もくじ

安全上のご注意	2
各部のなまえ	4
運転前の準備と確認	5

リモコンのなまえを確認して	
運転する	6
タイマーを使う	8
風向きを変える	9

お手入れ	10
・通常のお手入れ	10
・長期間使わないとき	11
・再び使い始めるとき	11
・定期的な点検	11
・別売品について	11

故障ではありません	12
もう一度お調べください	12
知っておいてください	14
仕様	15
保証とアフターサービス	16

ご使用の前に

運転のしかた

お手入れ



お困りのとき

- このたびは東芝ルームエアコンをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使っていただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。
- 保証書を必ずお受け取りください。

安全上のご注意




商品本体および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。
 次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■表示の説明

表示	表示の意味
 警告	「誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があること」を示します。
 注意	「誤った取り扱いをすると、人が ^{※1} 傷害を負う可能性、または物的損害 ^{※2} のみが発生する可能性があること」を示します。

※1：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。
 ※2：物的損害とは、財産・資材の破損にかかわる拡大損害をさします。

■図記号の説明

図記号	図記号の意味
	禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
	強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
	注意（警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

▲ 警告

据え付けは、お買い上げの販売店または据え付け専門業者に依頼すること

据え付けには専門の知識と技術が必要です。
 お客様ご自身で据え付けを行うと、火災・感電・けが・水漏れの原因になります。



強制

自分で分解・改造・修理・移設をしないこと

火災・感電・けが・水漏れの原因になります。
 修理・移設は、お買い上げの販売店または東芝家電修理ご相談センターへご依頼ください。



分解禁止

電源プラグは、ほこりが付着していないか確認し、がたつきのないように刃の根元まで確実に差し込むこと

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は感電や火災の原因になります。



電源プラグは確実に差し込む

電源コードは、破損させたり、加工や途中での接続、他の電気器具とのタコ足配線などをしないこと

電源コードは、重いものを載せたり、加熱したり、引っ張ったりすると感電や発熱・火災の原因になります。



禁止

可燃性ガスが漏れるような場所を設置場所を選ばないこと
 万一ガスが漏れてユニットの周囲に溜まると発火・火災の原因になります。



禁止

アース工事が正しくされているか確認すること

アース工事が不完全な場合は、感電の原因になります。
 確認方法については、据え付けをおこなった販売店、又は据え付け専門業者へ問い合わせください。



強制

長時間冷風を身体に直接当てたり、冷やし過ぎないこと
 体調悪化・健康障害の原因になります。



禁止

電源プラグを抜いてエアコンを停止しないこと
 感電や火災の原因になります。



禁止

異常時（焦げ臭い、冷えない・暖まらない、内部に水や異物が入った等）は、運転を停止して、電源プラグをコンセントから抜くこと
 そのまま使うと、火災、感電の原因になります。
 修理をお買い上げの販売店または東芝家電修理ご相談センターへご依頼ください。



強制

空気の吹出口や吸込口などから物（金属、紙、水など）を差し込んだり、中に入れたりしないこと

内部でファンが高速回転していたり、高電圧箇所があるため、けがや感電の原因になります。



禁止

エアコンが冷えない・暖まらない場合は、冷媒の漏れが原因のひとつと考えられるので、お買い上げの販売店に相談すること
冷媒の追加を伴う修理の場合は、修理内容をサービスマンに確認すること

エアコンに使用されている冷媒は安全です。

冷媒は通常漏れることはありませんが、万一、冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気に触れると有害な生成物が発生する原因になります。



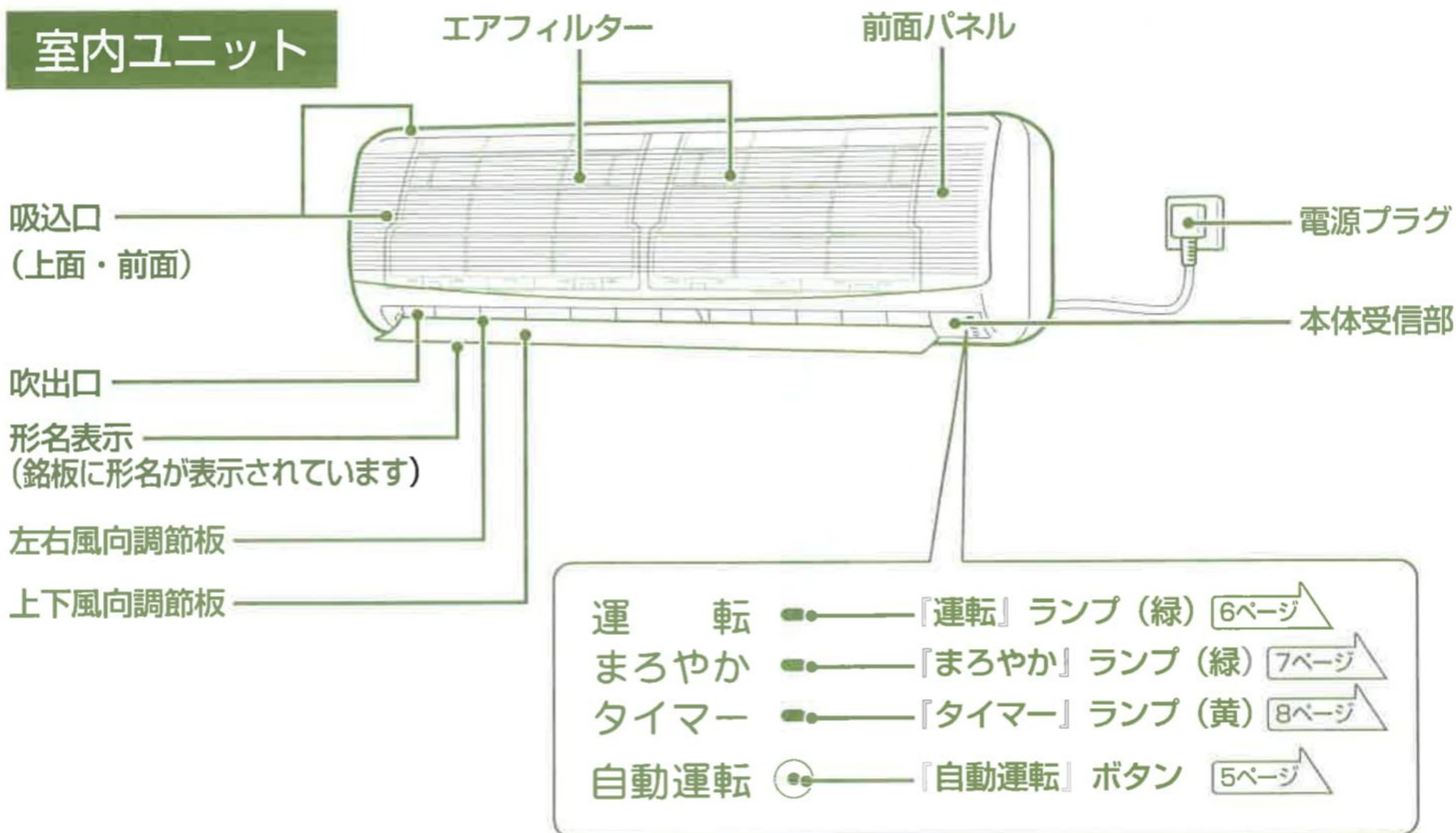
強制

⚠ 注意

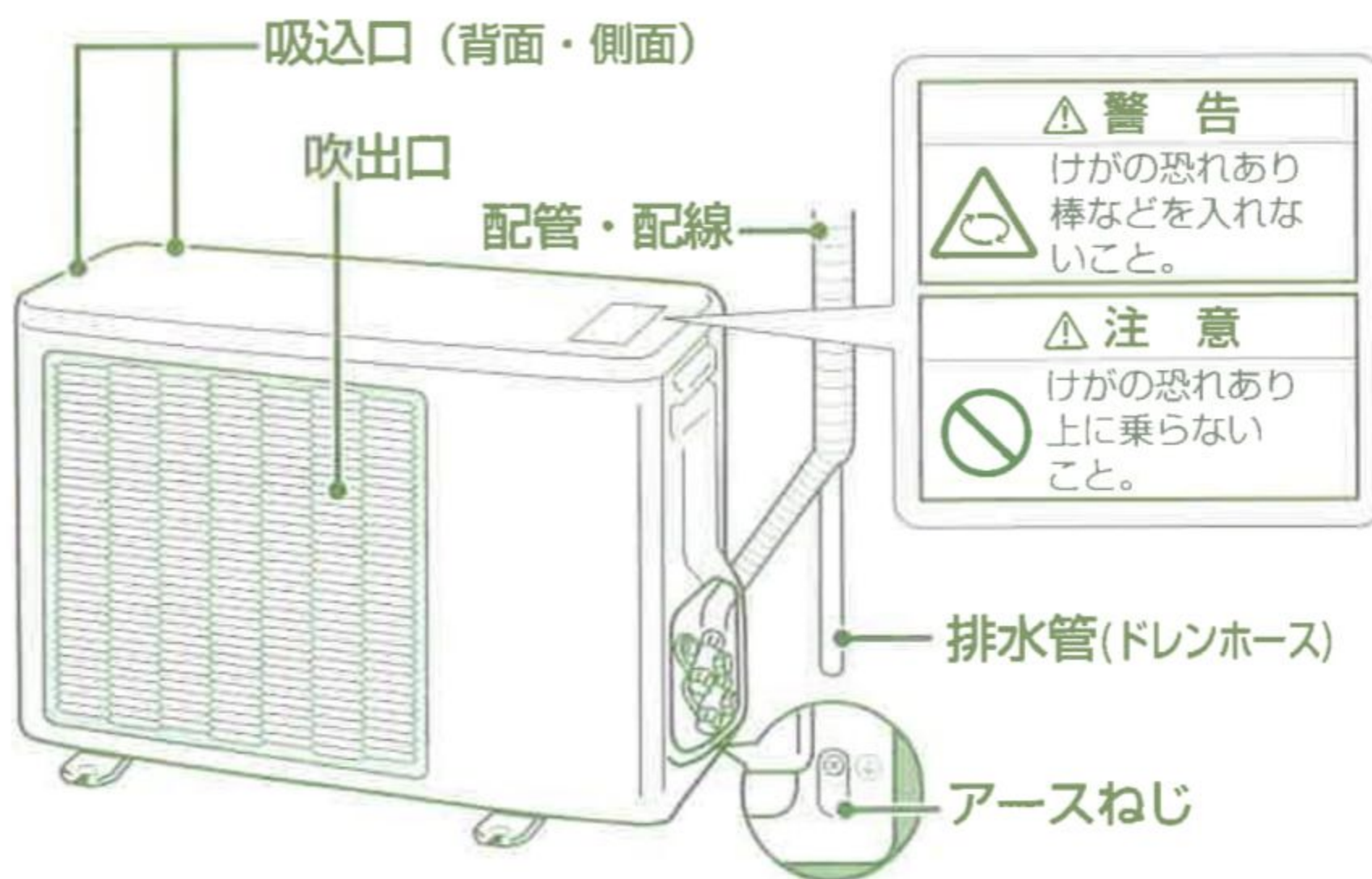
<p>食品・動植物・精密機器・美術品の保存や、船舶・車両などの特殊用途には使用しないこと 品質低下やエアコンの故障の原因になることがあります。</p> <p style="text-align: right;"> 禁止</p>	<p>エアコンの風が直接あたる場所には動植物を置かないこと 動植物に悪影響を与える原因になることがあります。</p> <p style="text-align: right;"> 禁止</p>
<p>漏電ブレーカーが正しく取り付けられているか確認すること 漏電ブレーカーが正しく取り付けられていないと感電の原因になることがあります。 確認方法については、据え付けを行った販売店、又は据え付け専門業者へ問い合わせください。</p> <p style="text-align: right;"> 強制</p>	<p>排水工事が正しくされているか確認すること 排水工事が不完全な場合は、屋内に水が浸水し家財などを濡らす原因になることがあります。 確認方法については、据え付けを行った販売店、又は据え付け専門業者へ問い合わせください。</p> <p style="text-align: right;"> 強制</p>
<p>燃焼器具と一緒に運転するときや、密閉した部屋で使用するときは換気をする事 換気が不十分な場合は、酸素不足により窒息の原因になることがあります。</p> <p style="text-align: right;"> 強制</p>	<p>ユニットの上に花びんなどの液体の入った容器を置かないこと ユニット内部に浸水して電気絶縁が劣化し、感電の原因になることがあります。</p> <p style="text-align: right;"> 禁止</p>
<p>エアコンの風が直接あたる場所で燃焼器具を使わないこと 燃焼器具の不完全燃焼により、窒息の原因になることがあります。</p> <p style="text-align: right;"> 禁止</p>	<p>掃除をするときは、必ず運転を停止して電源プラグを抜くこと 内部でファンが高速回転していますので、けがの原因になることがあります。</p> <p style="text-align: right;"> プラグを抜く</p>
<p>エアコン本体を水洗いしないこと 感電の原因になることがあります。</p> <p style="text-align: right;"> 禁止</p>	<p>濡れた手でボタンを操作しないこと 感電の原因になることがあります。</p> <p style="text-align: right;"> 禁止</p>
<p>室外ユニットの上に乗ったり、物を載せないこと 落下・転倒などによりけがの原因になることがあります。</p> <p style="text-align: right;"> 禁止</p>	<p>電源は必ず定格電圧でエアコン専用回路にすること 故障、火災の原因になることがあります。</p> <p style="text-align: right;"> エアコン専用回路になっているか確認すること</p>
<p>電源プラグの抜き差しはプラグを持って行うこと コードを引っ張って抜くと芯線の一部が断線し発熱や火災の原因になることがあります。</p> <p style="text-align: right;"> 強制</p>	<p>前面パネルをはずした状態で、本体の金属部にさわらないこと けがの原因になることがあります。</p> <p style="text-align: right;"> 禁止</p>
<p>長期間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜くこと ホコリが溜まって発熱・火災の原因になることがあります。</p> <p style="text-align: right;"> プラグを抜く</p>	<p>電源コードが専用コンセントまで届かないときは、専用コンセントを増設すること 延長コードを使用すると故障や火災の原因になることがあります。</p> <p style="text-align: right;"> お買い上げの販売店、据付専門業者に専用コンセントの増設を依頼</p>
<p>1年に1度は、室外ユニットの据付台などが傷んでいないか点検すること 傷んだ状態で放置するとユニットの落下・転倒によりけがの原因になることがあります。</p> <p style="text-align: right;"> 強制</p>	<p>リモコン用乾電池は</p> <ul style="list-style-type: none"> ●極性表示[(+)と(-)]を間違えて挿入しないこと ●充電しないこと ●乾電池に表示されている「使用推奨期間」を過ぎて使ったり、使い切った乾電池をリモコンに入れて置かないこと ●種類の違う乾電池や新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないこと ●乾電池に直接ハンダ付けしないこと ●ショート・分解・加熱・火の中に投入しないこと
<p>前面パネル・エアフィルターを水洗いした後は、水気をふき取って陰干しすること 水気が残っていると感電の原因になることがあります。</p> <p style="text-align: right;"> 強制</p>	<p>これらを守らないと、液漏れ、破裂などにより、やけど・けがの原因になることがあります。 もし液に触れたときは、水でよく洗い流してください。 器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。</p>
<p>前面パネル・エアフィルター着脱時、不安定な台に乗らないこと 転倒などけがの原因になることがあります。</p> <p style="text-align: right;"> 禁止</p>	<p style="text-align: right;"> 禁止</p>

各部のなまえ

室内ユニット



室外ユニット



付属品

リモコン



乾電池
単四形2本



リモコン
ホルダー



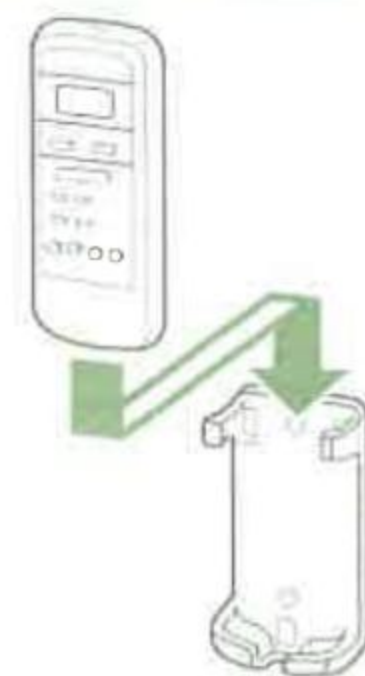
リモコンホルダー
取付用ねじ2本



リモコンホルダーの使いかた

リモコンホルダーは、ねじで壁・柱などに取り付けられます。取り付け場所から、信号が受信されることを(本体からの受信音で)確かめてください。

リモコンの取り付けかた
リモコン下部をリモコンホルダーに差し込んで取り付けてください。



運転前の準備と確認

▼ 本体の準備

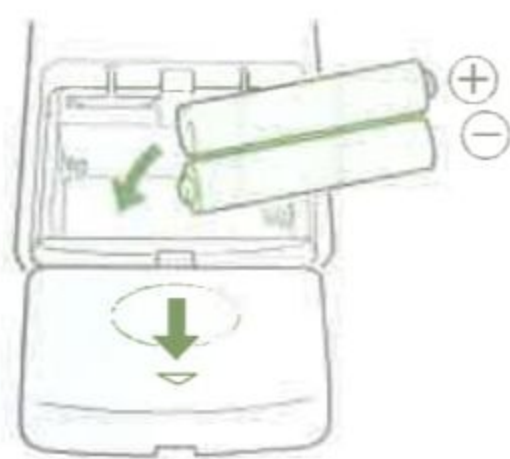
1 エアフィルターが正しく取り付けられているか確認する

2 電源プラグをコンセントに差し込む



▼ リモコンの電池の入れかた

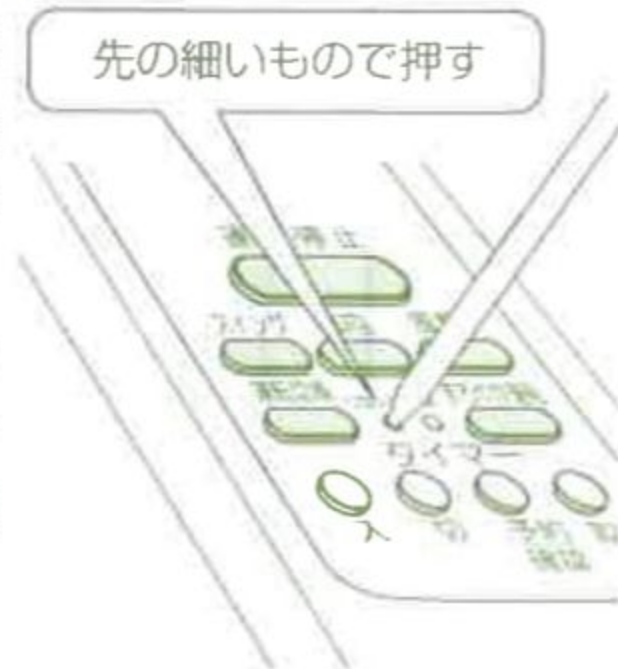
1 裏ブタを開けて、単四形乾電池を入れる



⊕ ⊖ を正しく!

2 先の細いものでリセットボタンを必ず押す

- 乾電池を交換した後の誤動作を避けるため必ずリセットをおこなってください。
- 表示部が異常になった場合などにリセットすると、もとに戻すことができます。



乾電池についてのお知らせ

- 乾電池交換のときは、新しい同じ種類の乾電池（単四形）を2本お使いください。
- 通常のご使用で乾電池の寿命は約1年です。
- 室内ユニットの受信音がしなくなったり、リモコンの表示がうすくなったり、お望みの運転ができなくなったときは、早めに乾電池を交換してください。
- 液漏れによる故障を避けるため、1ヵ月以上使わないときは乾電池を取り出してください。

▼ 準備ができれば受信音の確認

リモコンを本体受信部に向けて操作する

本体受信部
本体受信部が信号を受けると室内ユニットから受信音がします。

- ピピッ…運転
- ピー……停止
- ピッ……変更



リモコンについてのお知らせ

- 本体受信部との間にカーテン・ふすまなど信号をさえぎるものがあると動作しません。
- 直射日光が本体受信部に当たる場合は、送信しても信号を受け付けないことがあります。
- リモコンを本体の斜め位置から操作すると、送信できる距離が短くなります。

リモコンについてお願い

- リモコンは、本体受信部に向けて操作してください。
- 落としたり、水などをかけないでください。
- 直射日光に当たるところやストーブなどの近くに置かないでください。
- リモコンで他の電気機器が動作するときは、電気機器を離すか、販売店にご相談ください。
- 電子瞬時点灯方式、またはインバーター方式の蛍光灯が点灯中は、リモコンの信号を受信できず運転、停止をしないことがあります。このようなときは、販売店にご相談ください。

■ 自動運転（リモコンが使えないとき）

リモコンが見つからないときやリモコンの電池が切れたときは、室内ユニットで自動運転ができます。

● 運転するとき

『自動運転』ボタンを1回押すと自動運転になります。

● 停止するとき

『自動運転』ボタンをもう一度押します。



お願い

- 『自動運転』ボタンを10秒以上押し続けしないでください（押し続けるとサービス時やエアコン移設時に使う、強制冷房運転になります）。

リモコンのなまえを確認して

運転する (運転の種類・温度・風量を選ぶ)

自動

運転内容はすべてエアコンにおまかせです。温度は微調節できます。

冷房・暖房

お好みの設定温度と風量に設定できます。

ドライ

梅雨どきなど湿度が高いときに使います。

運転のしかた

1

運転切替を押して「運転の種類」を選ぶ

ボタンを押すたびに ▼ 表示位置が変わる

● 選べる運転の種類

→ 自動 → 冷房 → ドライ → 暖房 →

2

運転/停止を押して運転する

ピピッと鳴り、本体表示部の運転ランプが点灯
リモコン表示部に 表示

運転を止めるときは 運転/停止を押す

ピーと鳴り、運転ランプが消灯し、リモコン表示部の 表示が消え、上下風向調節板が閉まる

リセットボタン

5ページ

入タイマーボタン

8ページ

リモコン形名表示位置

切タイマーボタン

8ページ

リモコン表示部 (説明のためすべて表示を示してあります)

送信表示

運転切替表示

まろやか運転

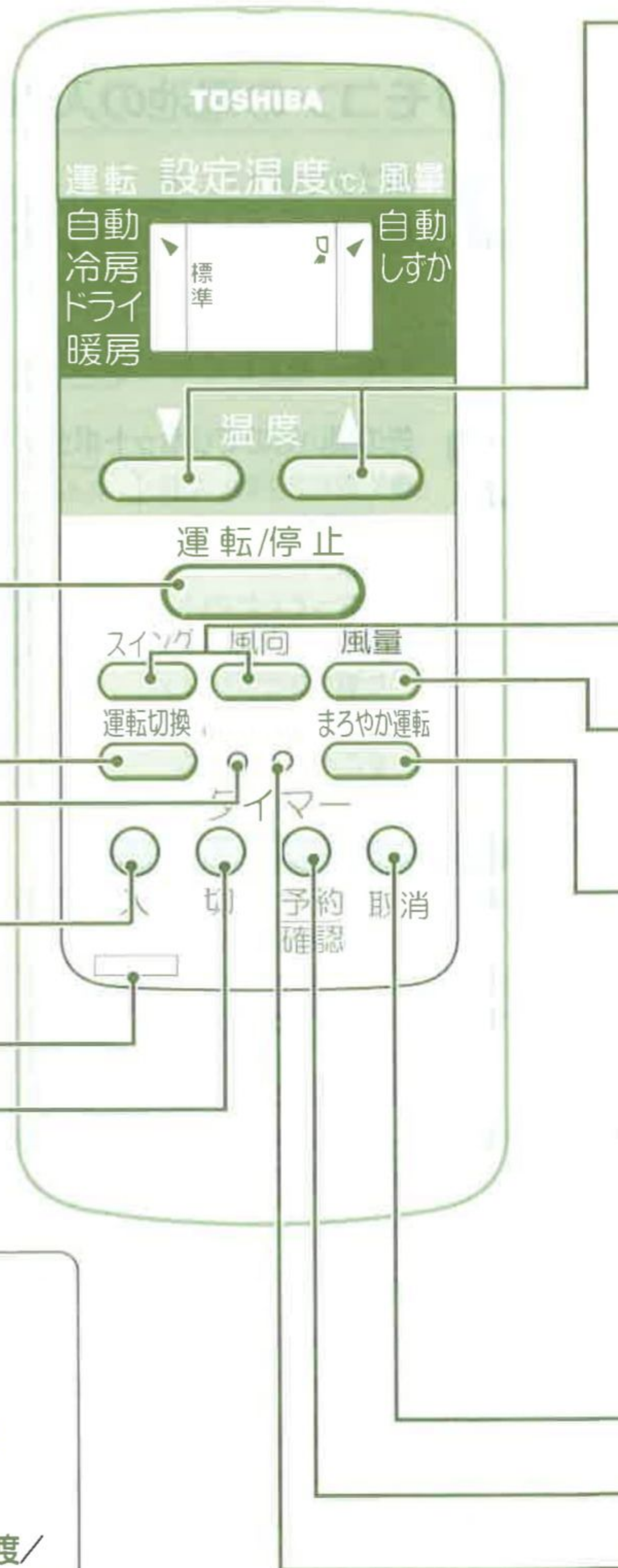
表示

運転中表示

風量切替表示

タイマー/設定温度/
チェックコード兼用表示

タイマー表示



まるやか運転

夏は冷やしすぎないように、冬はじんわりと心地よくするように、お部屋の温度・風向・運転音をエアコンが自動的に調節します。おやすみのときにお使いください。

まるやか運転のお知らせ

- ドライ運転中は使えません。
- まるやか運転は能力や運転音を小さくするので、長時間使っているとよく冷えない（暖まらない）ことがあります。
- 運転中に風量を押すとまるやか運転が取り消され、風量は自動になります。
- 運転切換時や入タイマー予約をすると、まるやか運転は取り消されます。

温度ボタン

温度を変えるときに使用します。

-  を押すと温度が上がり、 を押すと下がります。

温度表示について

リモコン表示	自動 のとき	冷房・暖房・ドライ のとき
設定温度調節範囲	標準より 約5℃高め～5℃低め 設定温度 設定温度 設定温度 +5 ~ 標準 ~ -5	17~30

おすすめの設定温度

暖房	20～24℃
冷房	26～28℃
ドライ	お部屋の温度より2～3℃低め 設定温度がお部屋の温度より高いと、送風だけになり除湿効果がありません。

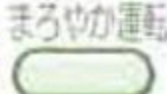
スイングボタン・風向ボタン

風量ボタン

風量を変えるときに使用します。

- 押すたびに表示が変わります。

まるやか運転ボタン







運転中に  を押す

ピッと鳴り、本体表示部のまるやかランプが点灯し、リモコン表示部に ☆ 表示
●風量は自動となります。

取り消すときはもう一度  を押す

ピッと鳴り、まるやかランプが消灯し、リモコン表示部の ☆ が消える

風量表示について

リモコン表示	自動 のとき	冷房・暖房 のとき	ドライ のとき
選べる風量		 →  →  →  (微) (弱) (強)	 風量は選べません

- “しずか”は、室内・室外の運転音を小さくする運転です。運転音とともに能力も抑えますので、長時間使っているとよく冷えない（暖まらない）ことがあります。

お知らせ

- 運転の種類・風量・温度は一度セットすると、次回は同じ内容で運転します。ただし、まるやか運転と風量の“しずか”は次回の運転のとき“自動”になります。
- 運転切換の“自動”を選んだとき、お部屋の温度や外気の温度によっては送風運転になる場合があります。
- 再運転や電源プラグを差し込んだ直後は、約3分間たってから運転を始めます。

タイマー取消ボタン

予約/確認ボタン

点検ボタン

修理を依頼する前に、故障箇所を調べるときに使用します。

タイマーを使う

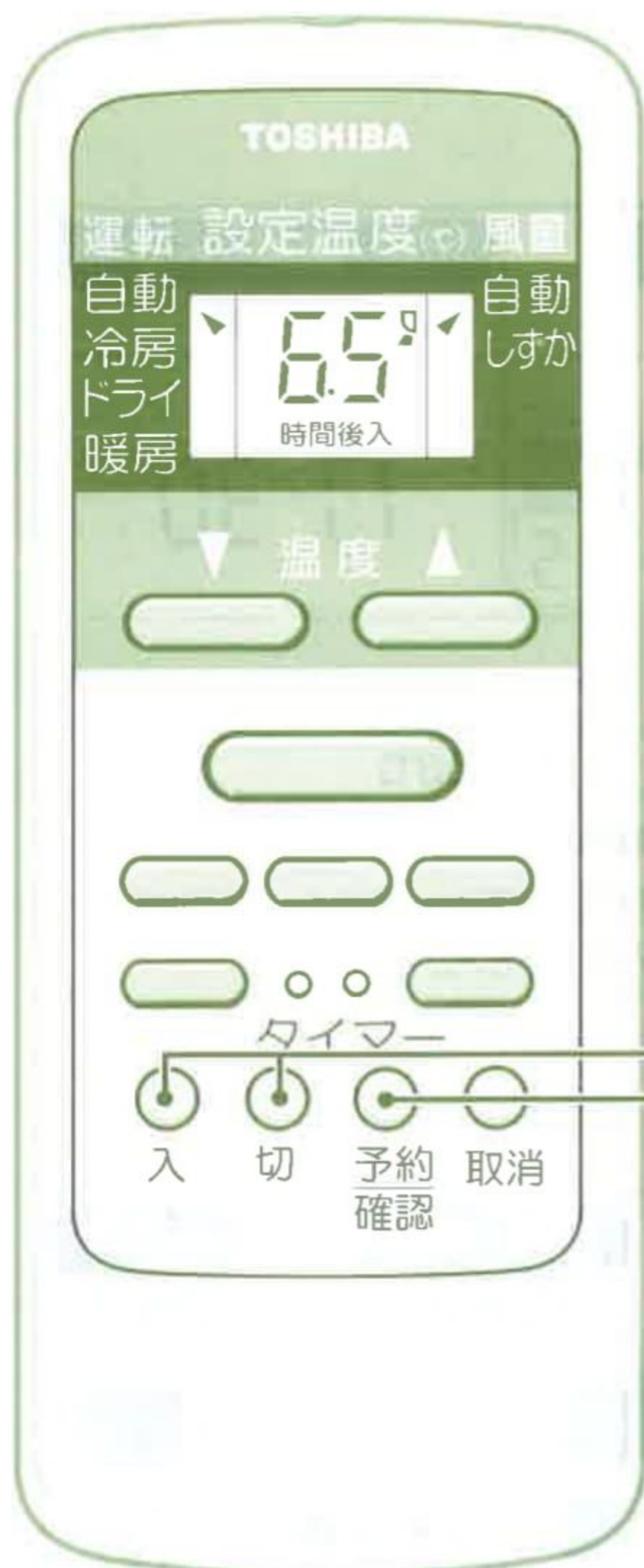
「今から6.5時間後に運転を始めたい」、「今から2時間後に運転を止めたい」というときに最大12時間まで入タイマー、切タイマー、どちらかの予約ができます。

入タイマー

予約時間になると運転を開始。
例えば
心地よい温度でお目覚めしたい。

切タイマー

予約時間になると運転を停止。
例えば
眠るころにエアコンをストップしたい。



「6.5時間後に入タイマーを予約」したときの表示です。

お知らせ

タイマー予約は…

- タイマー予約中に を押し、タイマー予約が取り消されすべての運転が止まります。
- 予約の設定時間は、最初は前回の設定時間が表示されます。前回と同じにしたいときは「入」または「切」を押してからそのまま ボタンを押してください。
- 入タイマー、切タイマーの組み合わせはできません。

入タイマー（切タイマー）予約のしかた

1 を押して、運転を始める（止める）までの時間を選ぶ

- 時間表示が順に変わります。



2 を押して、予約する

- ピピッと鳴り、本体表示部の運転ランプとタイマーランプが点灯
リモコン表示部に 表示
- 時間表示は点滅から点灯に変わり、3秒後に設定温度表示に変わります。



残り時間を確認するとき

を押す

リモコン表示部に残り時間を表示し、3秒後に設定温度に戻る

予約を取り消すとき

を押す

本体表示部のタイマーランプが消え、リモコン表示部の入（切）が消える

予約時間を変更するとき

- もう一度はじめから予約してください。

停電があったとき

- タイマー予約は取り消されます。再度タイマー予約をしてください。
- 停電が終り通電されると、本体の運転ランプが点滅して知らせます。

風向きを変える (スイング・左右風向・上下風向)

上下の風向きを変えるときは…

 を押し続け、

好みの位置で離す

ピッピッピッ…と鳴り、上下風向調節板が上下に動く

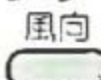
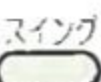
お知らせ

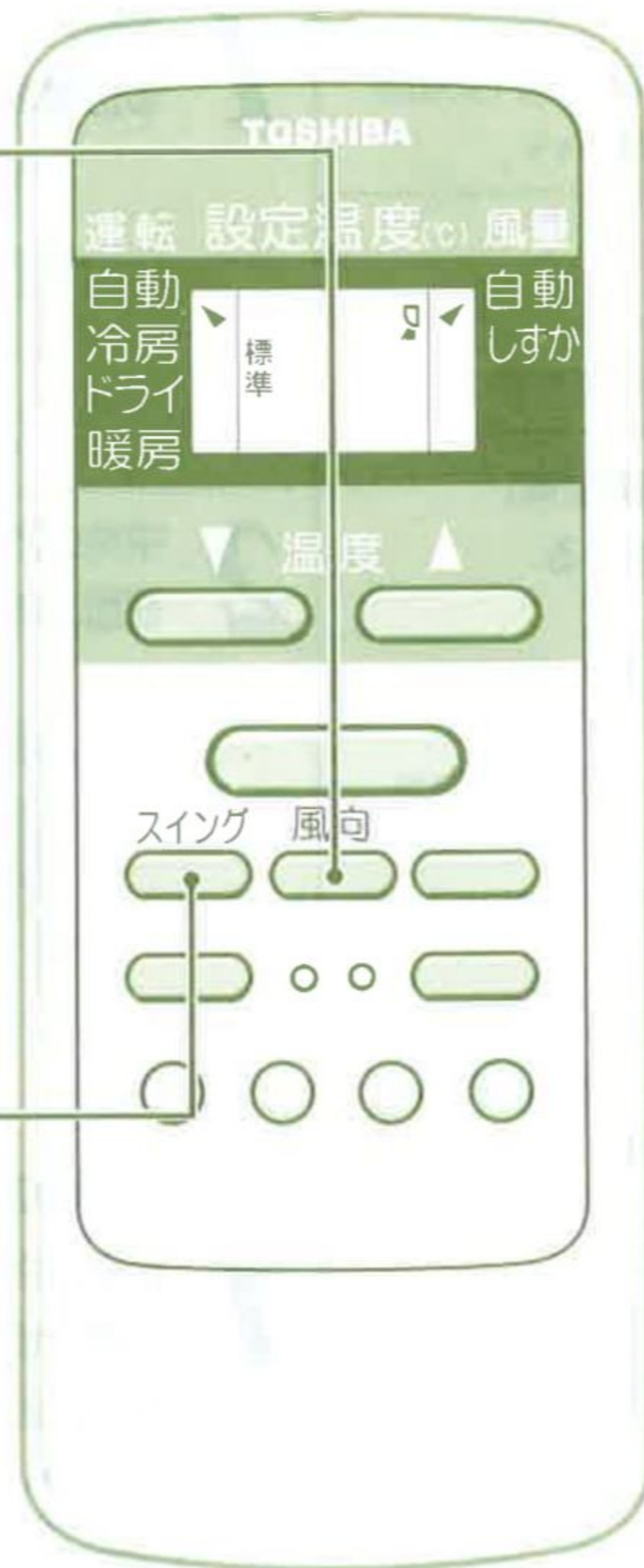
- 上下の風向きを変える時は、必ず運転中にリモコンの風向ボタンを押して調節してください。その位置を記憶し、次回からは記憶した上下風向調節板の向きになります。(メモリールーバー機構)
- メモリールーバーを解除する時は、運転を停止し電源プラグを抜き、再度差し込んでください。

風向きを
変化(スイング)させるときは…

 を押す

ピッと鳴り、上下風向調節板がスイングする

- スイングの中心位置を変えたいときは、 を押します。
- 止めるときは、もう一度  を押します。



左右の風向きを変えるときは…

左右風向調節板のツマミを
手で動かして調節する



運転のしかた

上下風向調節板の動き

上下風向調節板は手で動かさないでください。記憶している位置がずれたり故障の原因になることがあります。風向ボタンを操作しないときは、自動的に次のように動きます。

冷房時

「水平吹き」



- 冷房時は「水平吹き」です。(自動運転の真夏冷房時は室温、外気温ともに高いときに「斜め下吹き」になる場合があります。)
- 冷房運転のとき、上下風向調節板は「水平吹き」でお使いください。「水平吹き」以外の向きで長時間使うと、水滴が落ちることがあります。

ドライ時

「水平吹き」



- ドライ時は「水平吹き」です。

暖房時

「斜め下吹き」



- 暖房時は「斜め下吹き」です。
- 暖房のまろやか運転時、設定温度と部屋の温度が近づいたとき、または運転開始後約30分以後「水平吹き」になります。
- 自動運転時に、暖房が選択されているときは「斜め下吹き」です。

お手入れ

こまめなお手入れと早めの点検がエアコンを長持ちさせ、電気代の節約にもなります。

通常のお手入れ 点検・お手入れの前には、リモコンで運転を停止して電源プラグを抜いてください。

本体

やわらかい布でからぶきする

- 本体の汚れがからぶきで落ちないときは、40℃以下のぬるま湯ですすいだ布をよくしぼってふいてください。

リモコン

やわらかい布でからぶきする

- 水洗いをしないでください。故障の原因となります

前面パネル (はずし方・取り付け方は右欄参照)

やわらかいスポンジやタオルで水洗いをする

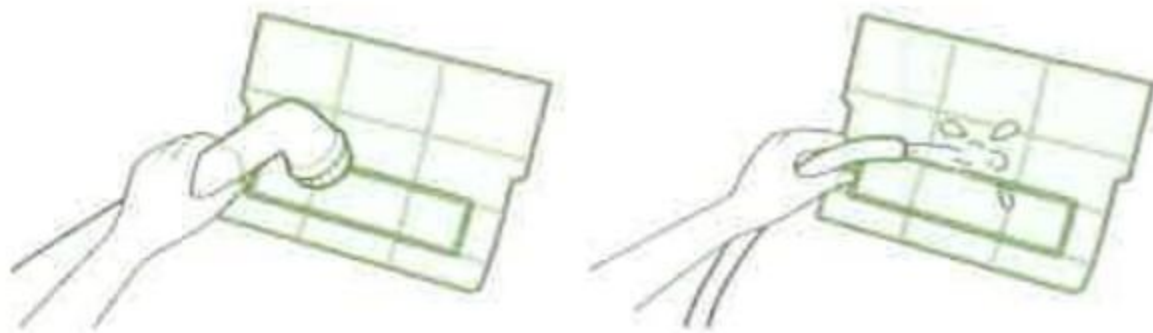
- 水洗いの後は日陰でよく乾かしてください。
- ひどい汚れは台所用中性洗剤で落とし、水ですすいでください (金属たわしは使わないでください)。
- 前面パネルの吸込口を強く押さないでください。吸込口が割れる恐れがあります。

エアフィルター

約2週間使用したら、必ずお手入れしてください。
エアフィルターの目づまりは冷暖房効果が下がることがあります。

ホコリを掃除機で吸い取るか、水洗いする

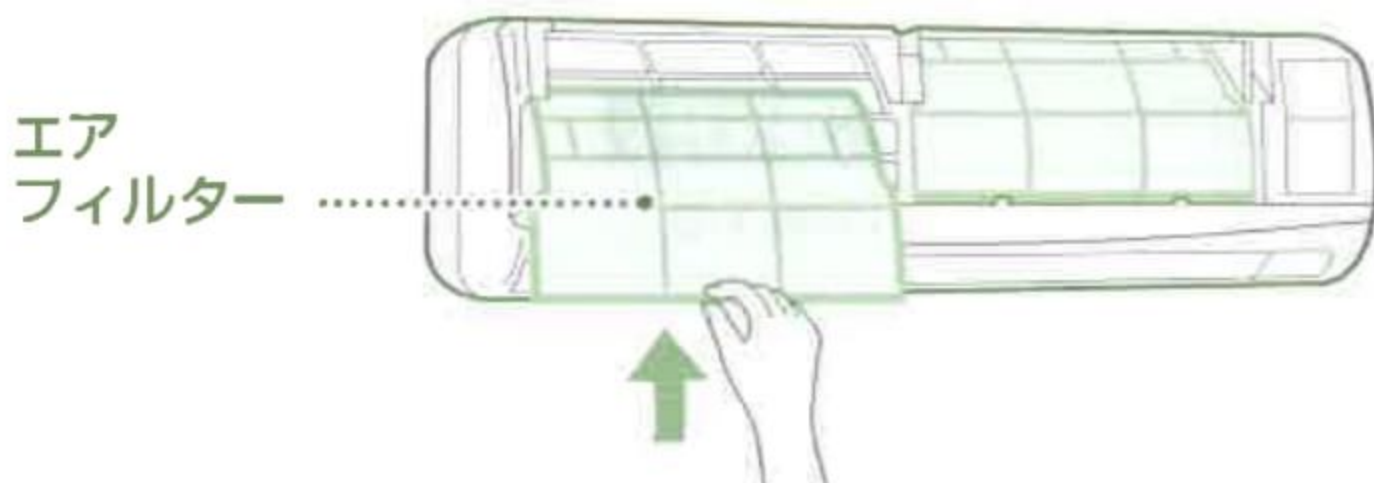
- 水洗いしたときはよく乾燥させてください。



■はずし方・取り付け方

前面パネルをカクッと止まる位置まで開け、エアフィルター中央下部の凸部を少し持ち上げて下に引き出す

- 取り付けは本体に差し込んだ後、エアフィルター下部をフィルター押さえにはめ込み、前面パネルを閉めます。

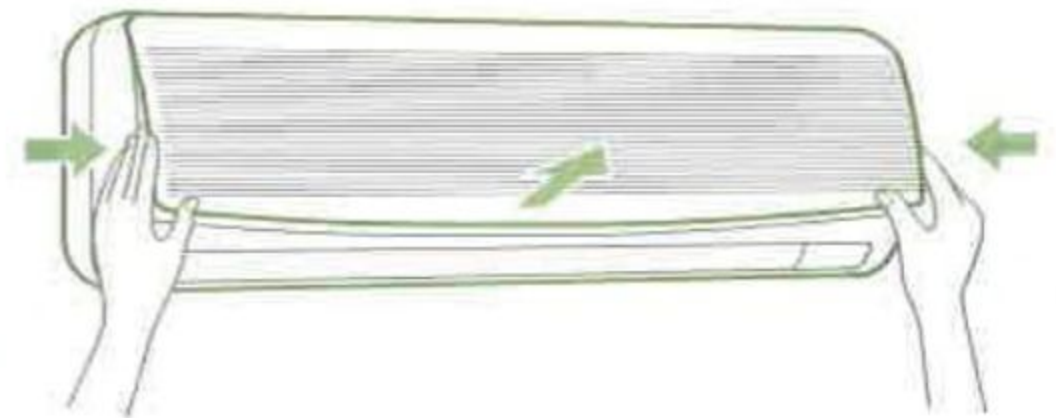


お願い

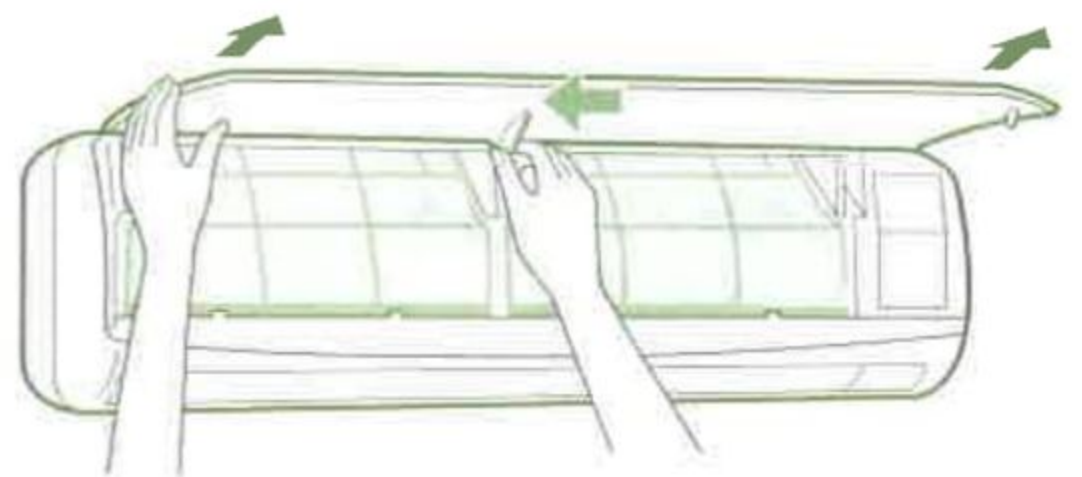
- アルコール・ベンジン・シンナー・ガラスクリーナー・みがき粉などは使用しないでください。製品をいためます。
- 化学ぞうきんでこすったり、長時間接触させたままにしないでください。変質したり表面がはげたりすることがあります。

前面パネルの開け方・はずし方

- 1 前面パネルの左右下側を同時に引き、水平になる位置まで引き上げる

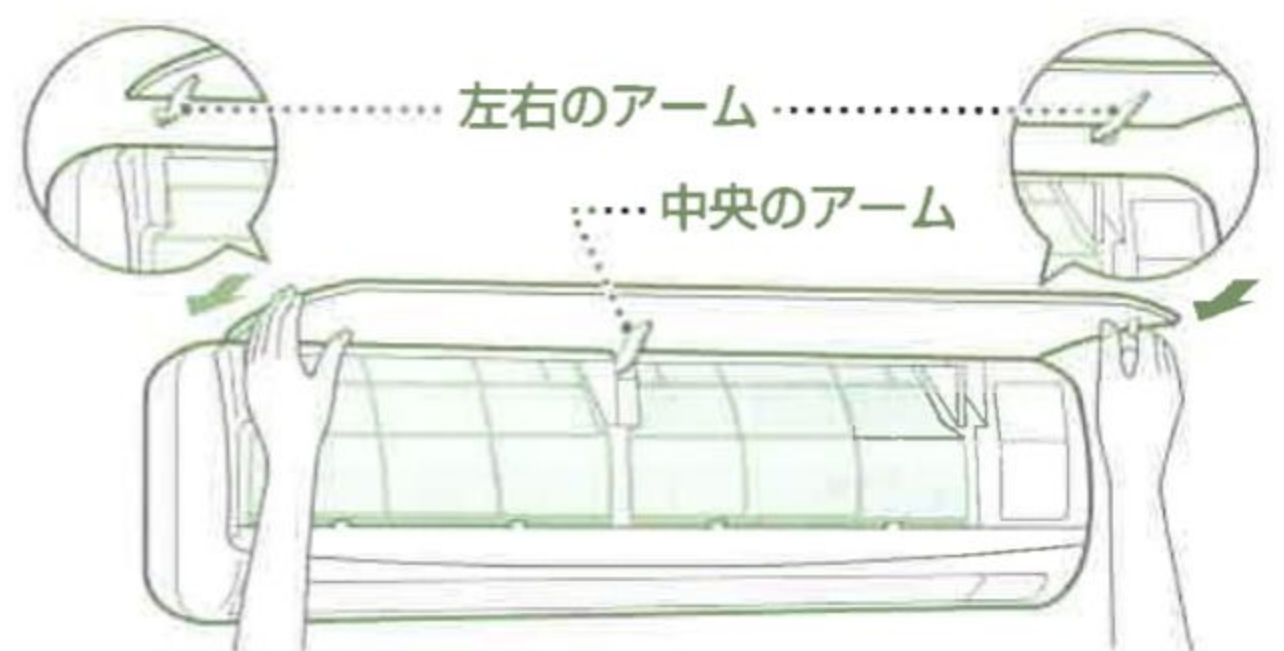


- 2 中央のアームを左側に押しながらアームをはずし前面パネルを斜め上方に引き上げてとりはずす



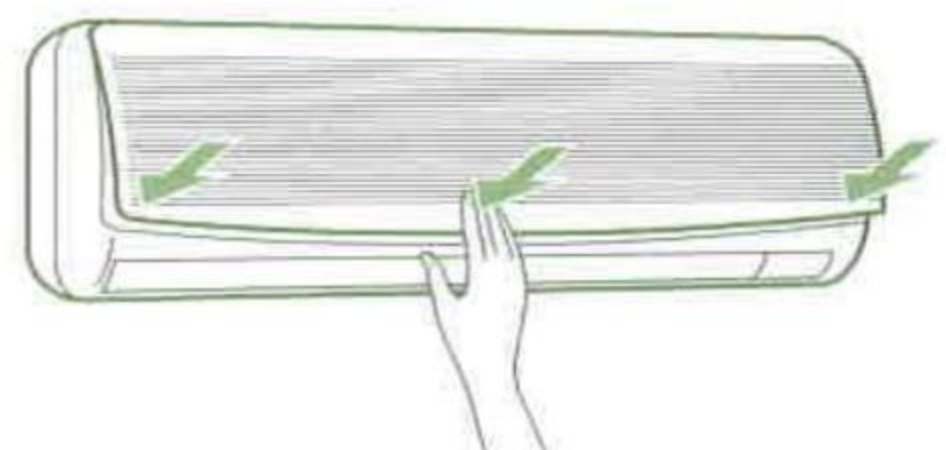
前面パネルの取り付け方

- 1 前面パネルの左右のアームを本体両端の軸の溝に合わせて止まる位置まで押し、中央のアームを押し込む



- 2 中央のアームが入っていることを確認し前面パネルを閉める

- 前面パネルの下側の矢印部 (3カ所) を押して閉める。
- 閉めるとき、誤って自動運転ボタンを押すと、自動運転が始まります。この場合はもう一度自動運転ボタンを押して自動運転を止めてください。

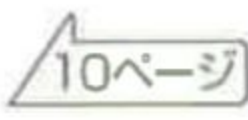


⚠ 注意

- 前面パネル・エアフィルター着脱時、不安定な台に乗らないこと
転倒などけがの原因になることがあります。
- 前面パネル・エアフィルターを水洗いした後は、水気をふき取って陰干しすること
水気が残っていると感電の原因になることがあります。
- 前面パネルをはずした状態で、本体の金属部にさわらないこと
けがの原因になることがあります。

使用環境によってはカビ・ホコリなどの異物付着により、においが発生することがあります。
においが気になるときはクリーニングをおすすめします。

長期間使わないとき

- 1 3~4時間、送風運転をして内部を乾燥させる
 - “冷房” 運転で設定温度を高めにするとう送風運転になります。
- 2 リモコンで運転を停止し、電源プラグを抜く
- 3 エアフィルターのお手入れをする 
- 4 リモコンの電池を抜く
 - 長期間放置すると電池の液漏れや放電の恐れがあります。

再び使い始めるとき

- 1 エアフィルターが汚れていないか、取り付けられているか確認する
- 2 室内・室外ユニットのまわりがふさがれていないか確認する
 - ふさがれていると性能が低下し、運転できなくなることがあります。
- 3 リモコンに電池を入れる
- 4 電源プラグを差し込む

定期的な点検

- 長期間使っていると、熱・湿気・ホコリなどの影響や、使用状態により部品が劣化し、故障したり除湿水の排水が悪くなったりすることがあります。
- 通常のお手入れとは別にお買い上げの販売店などによる点検整備（有料）をおすすめします。

お願い

エアコンのクリーニングについて

エアコンのクリーニングは洗浄方法や洗浄剤の選定に高い専門技術が必要です。もし、誤った方法で洗浄を行うと、樹脂部品の破損や電気部品の絶縁不良等が発生して故障の原因となったり、最悪の場合は水漏れ、感電、あるいは発煙・火災につながる恐れがあります。クリーニングをご希望する場合は、お買い上げの販売店または東芝家電修理ご相談センターにご依頼ください。



集中コントロールシステム

エアコンを1カ所で集中コントロールできる機器です。

運転の種類は自動運転となります。

JEMA（日本電機工業会）標準HA（ホームオートメーション）端子JEM-Aがついています。

詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

心配しないで故障ではありません

次のような状態にはそれぞれ理由があり心配ありません。

このようなときには		説明
本体表示部の運転ランプが点滅		<ul style="list-style-type: none"> ● 停電のあとや電源プラグをコンセントに差し込んだときに点滅します。 → 点滅を止めるときは、 を2回押ししてください。
音がする	室内ユニット	<ul style="list-style-type: none"> ● プシュー音は、運転中霜取りのために冷媒の流れが切り換わる音です。 ● ピシピシ音は、温度の変化により部品が伸び縮みするときの音です。 ● シュルシュル音、グググ音は冷媒の流れる音です。 ● 運転を停止したときは、2～3分後にカチッという音がします。 ● 排水管付近からのゴボゴボ音は室外の空気が排水管より室内に流れる音です。特に気密性の高い部屋で換気扇を使用したときに発生します。対応部品を用意してありますので、お買い上げの販売店または東芝家電修理ご相談センターにご相談ください。
	室外ユニット	<ul style="list-style-type: none"> ● プシュー音は、冷媒の流れが変化する音です。 ● 外気の温度が低く、室外ユニットを予熱しているときは、停止中に室外ユニットからキーンという音が聞こえる場合があります。
水・湯気が出る	室内ユニットから湯気が出る 背面に露がつく	<ul style="list-style-type: none"> ● お部屋の空気が急速に冷やされて、湯気が出る場合があります。 ● 背面についた露を集めて排水する構造になっています。
	室外ユニットから水・湯気が出る	<ul style="list-style-type: none"> ● 暖房運転時、霜がつくことがあります。暖房効果を高めるために、霜取り運転をしますが、そのとき水や湯気となってでるためです。
部屋がにおう		<ul style="list-style-type: none"> ● 壁やじゅうたん、家具、衣類などにしみ込んでいるにおいが出てくるためです。
上下風向調節板が開閉する		<ul style="list-style-type: none"> ● 暖房運転中に室温や外気温が高いときは、上下風向調節板が一度閉じて記憶した位置に動くことがあります。
上下風向調節板がこきざみに動く		<ul style="list-style-type: none"> ● 運転を停止すると上下風向調節板が閉じます。止まるときに上下風向調節板が上下に細かく速く動きます。
風が止まる		<ul style="list-style-type: none"> ● 暖房運転中、霜取りになると室内ユニットの送風が停止します。

修理を依頼する前に もう一度

このようなときには
エアコンが運転しない
冷房・暖房が弱い
途中で止まってしまう
リモコンを押しても受信音がしない 表示が変わらない
 を押しても上下風向調節板が動かない
風量が“自動”と“しずか”にしかない
 を押しても設定温度が表示されない
 を押しても風量表示が変わらない

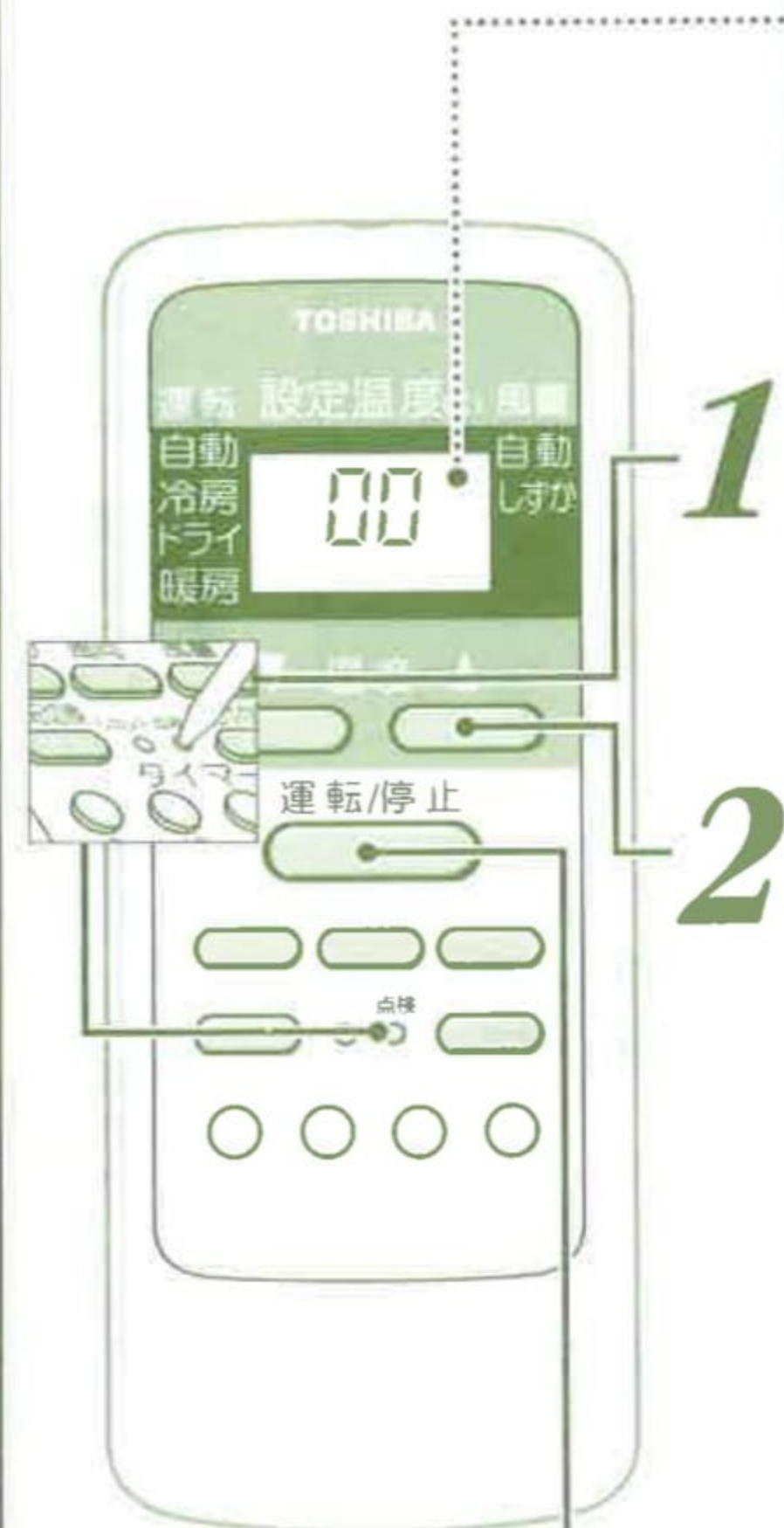
お調べください

調べるところ	参照ページ
●電源プラグがコンセントから抜けていませんか？	5
●ブレーカーかヒューズが切れていませんか？	—
●停電ではありませんか？	—
●再運転や電源プラグを差し込んだ直後ではありませんか？ →機械を保護するために3分間は運転しません。	5
●リモコンを本体受信部に向けてボタンを押しましたか？	5
●入タイマー予約になっていませんか？ → 運転/停止 をもう一度押してください。	8
●リモコンの電池の向き (+・-) が逆ではありませんか？	5
●リモコンの電池切れではありませんか？	—
●リモコンの表示部にBの表示がありませんか？ →Bの表示があるときはリモコンのリセットボタンを押してください。	5
●エアフィルターが汚れていませんか？	10
●設定温度・風量切換・風向調節が適切ですか？	—
●風量切換が“しずか”、“微”で長時間運転していませんか？	7
●室外ユニットの吸込口や吹出口がふさがれていませんか？	—
●窓や戸などが開いていませんか？	—
●ドライ運転になっていませんか？	6
●運転条件からはずれていませんか？	14
●切タイマー予約時間になったのではありませんか？	8
●電圧の変化、吸込口がふさがれているなどで機械に無理がかかり、保護装置が働いている場合があります。障害物を取り除き、約30秒後ブレーカーを入れ直してください。	—
●リモコンを本体受信部に向けてボタンを押しましたか？	5
●入タイマー予約になっていませんか？	8
●自動運転中ではありませんか？	6~7
●自動運転中ではありませんか？	6~7
●ドライ運転中ではありませんか？	6~7

修理を依頼する前に、

リモコンを使ってエアコンの自己診断をしてください
自己診断機能……お客様にリモコンで確認していただく機能です。
修理を依頼する前に、リモコン表示部に表示するチェックコードを次の手順で確認し、エアコンの症状と合わせて販売店または東芝家電修理ご相談センターにお知らせください。

■自己診断のしかた



チェックコードには数字とアルファベットが使われています。
5は5です。 bはBです。
6は6です。 CはCです。
AはAです。 dはDです。

1 先の細いもので点検ボタンを押す
●リモコン表示部が点検表示00に変わったことを確認してください。



2 **△** をエアコンに向けて1回ずつ押す
正常なときは押すたびに受信音がピッと鳴り、リモコン表示部のチェックコードが変わります
…00→01→02…→1d→1E…→22…

エアコン本体のタイマーランプが点滅(1秒間に5回)
●00～22まで35個のコードがありますので全て確認してください。

●**▽** は行き過ぎた場合、戻すときに押します。
異常のあるときは受信音がピッから、ピピピ(約10秒間鳴り続ける)と鳴ります
リモコン表示部のチェックコードを確認してください。



●リモコン表示部に2桁の英数字を表示
●エアコン本体の全てのランプが点滅(1秒間に5回)。

3 自己診断機能を解除するときは
運転/停止 を押す
●点検前の表示に戻ります。

お知らせ

- 運転/停止** を押しても通常の表示に戻らないときは、リモコンのリセットボタンを押してください。 **5ページ**
- 自己診断機能を解除しても、エアコン本体には異常コードが残ります。

知っておいてください

■自動運転（標準）の運転内容

- お部屋の温度と外気の温度に応じて、適切な運転の種類・設定温度・風量切換・風向を自動的に選びます。
- 冷房、真夏冷房運転時は風向きがスイングになります。スイングを止めたい場合はスイングボタンを押してください。
- 運転開始時、自動的に選んだ内容は、室温が設定温度に達して室外ユニットが15分以上停止したときなどに、再選定されます。
- 真夏冷房時、上下風向調節板は斜め下向きスイングです。その後水平スイングになります。

〔お部屋の温度：室内ユニットの吸入口温度〕
〔外気の温度：室外ユニットの吸入口温度〕

自動運転（標準）のしくみ



■運転条件

下表の条件以外で運転すると、保護装置が働き運転できないことがあります。また、故障の原因になることがあります。

運転条件

冷房運転	外気の温度 約21~43℃
	部屋の温度 約21~32℃
	部屋の湿度 80%以下 80%をこえた状態で長時間運転すると室内ユニットの表面に露がつき、水滴が落ちることがあります。
暖房運転	外気の温度 約21℃以下 部屋の温度 約28℃以下
除湿運転	外気の温度 約17~43℃ 部屋の温度 約17~32℃

■暖房運転について

- 外気の熱を吸収して室内へ運び、暖房する方式（ヒートポンプ方式）です。
- 通常は外気温度が下がるにつれて暖房能力は低下します。
- 外気温度が下がっても、インバーターの働きにより、暖房能力の低下を防ぎます。それでも暖房能力が不足のときは、他の暖房器具と併用してください。
- 運転開始時、すぐに風は出ません。室内熱交換器が暖まってから温風が吹き出します。

■クイック暖房

外気および部屋の温度が低いときは、暖房運転開始時に温風吹き出し時間を早くするため、エアコン停止中に室外ユニットを予熱することがあります。（約20W消費します）

■据え付けについて

⚠ 警告

据え付けは、お買い上げの販売店または据え付け専門業者に依頼すること

据え付けには専門の知識と技術が必要です。お客様ご自身で据え付けを行うと、火災・感電・けが・水漏れの原因になります。

移設について

⚠ 警告

エアコンを移動再設置する場合は、お買い上げの販売店または東芝家電修理ご相談センターへ依頼すること

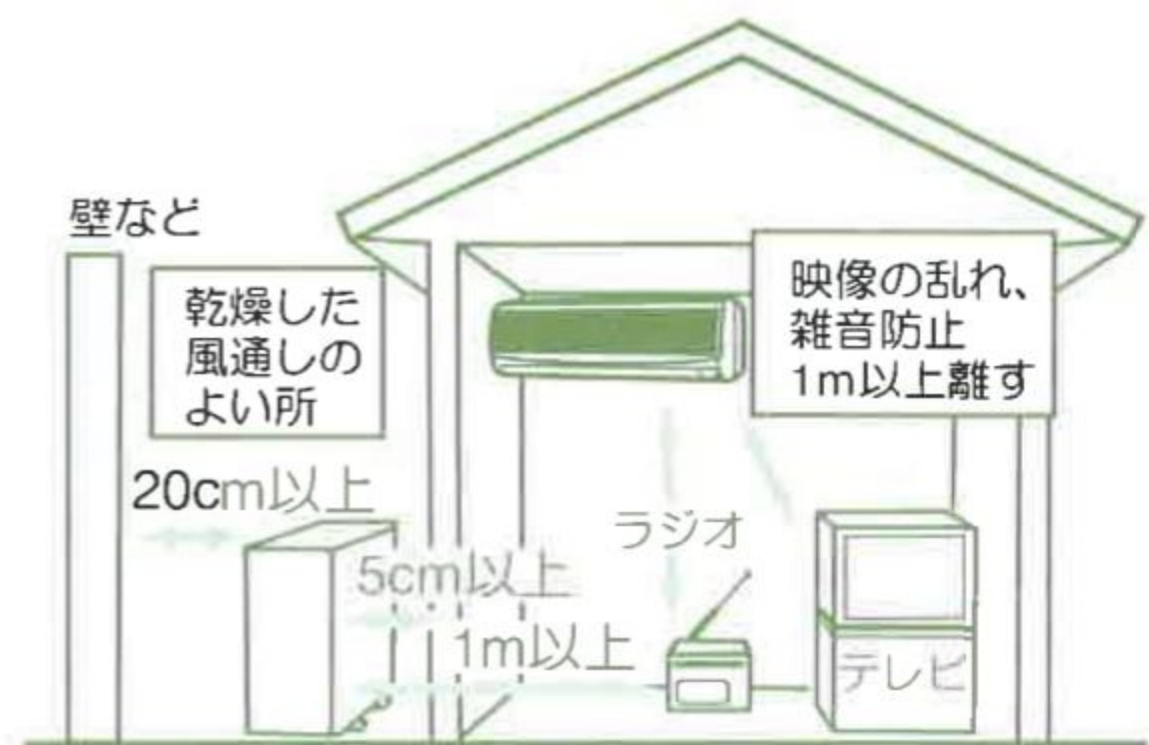
据え付け不備があると感電・火災の原因になります。

- 引越しや増改築などでエアコンを移設するときは、強制冷房運転により冷媒回収が必要です（別途移設費用が必要です）。
- 周波数（50/60Hz）は、自動切換です。

5ページ

据付場所について

- 霜取り、除湿の水はけのよいところに設置してください。
- 次のような場所には設置しないでください。
 - ・テレビ、ステレオ、ラジオなどが1m以内にあるところ。1m以上であっても受信感度の弱い場合は、雑音小さくなるまで離してください。
 - ・高周波機器（業務用マシン、業務用マッサージ器等）無線機器等があるところ。誤動作します。
 - ・油、蒸気、油煙や腐食性ガスの発生するところ。
 - ・海岸地区のような塩分の多いところ。
 - ・機械油の多いところ。
 - ・海岸地区、ビルディング上階部など常時強風の当たるところ。
 - ・温泉地のような硫化ガスの発生するところ。
 - ・クレーン車、船舶など移動するものへの設置。
 - ・暖房運転時、エアコンの吹出口真下にカーテンボックス等の障害物があると、効果が出ないことがあります。



電気工事について

⚠ 注意

電源は必ず定格電圧でエアコン専用回路を使用すること

電源コードが専用コンセントまで届かないときは、専用コンセントの増設を専門業者に依頼すること

延長コードを使用すると故障や火災の原因になることがあります。

アースの設置について



警告

アース工事が正しくされているか確認すること

アースが不完全な場合は、感電の原因になります。確認方法については、据え付けを行った販売店、または据え付け専門業者へ問い合わせください。

- 室内のコンセントにアースがある場合は、室内ユニットにアースを取り付けることができます。
- アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続されていないことを確認してください。
- アースを取り付けると、万一の感電事故のほか、室外ユニットに内蔵している周波数変換装置（インバーター）の高周波によって室外ユニット表面に電気を帯びるのを防ぎます。アースが取り付けられていないと、室外ユニット表面に触れたとき、電気を感じる場合があります。
- ノイズを吸収するためにもアースの取り付けは必要です。

運転音にもご配慮を

- 運転音や振動が他へ伝わったり増大しないように、十分な強度がある場所に設置してください。
- 室外ユニットの吹出口からの風や運転音が隣家の迷惑にならない場所に設置してください。
- エアコン運転中に異常音がする場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

積雪や氷結にもご配慮を

- 積雪地では、室外ユニットの吸込口や吹出口が雪でふさがれ、暖まりにくくなったり故障のもとになることがあります（詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください）。
- 寒冷地では氷結防止のため、除霜水がたまらずに円滑に流れるように配慮してください。氷結すると暖まりにくくなったり、故障の原因になることがあります。

仕様

形名	室内ユニット		室外ユニット	
	RAS-2252SV	RAS-2252ASV	RAS-2552SV	RAS-2552ASV
種類	冷房・暖房兼用スプリット形		冷房・暖房兼用スプリット形	
電源	単相100V		単相100V	
冷房	能力 (kW)	2.2 (0.9~2.5)		2.5 (0.9~2.6)
	中間能力 (kW)	1.2		1.3
	消費電力 (W)	895 (295~1150)		1020 (295~1150)
	中間消費電力 (W)	375		390
	運転電流 (A)	9.94		11.33
	エネルギー消費効率	2.46		2.45
	運転音 (dB)	39	45	40
房	面積の目安 (m ²)	鉄筋アパート 南向き洋室		17
		木造南向き和室		11
暖房	標準能力 (kW)	3.2 (0.9~3.9)		3.4 (0.9~4.0)
	中間標準能力 (kW)	1.7		1.8
	標準消費電力 (W)	1140 (255~1220)		1200 (255~1265)
	中間標準消費電力 (W)	495		520
	運転電流 (A)	12.67 (最大14.8)		13.33 (最大14.8)
	エネルギー消費効率	2.81		2.83
	運転音 (dB)	39	45	41
房	面積の目安 (m ²)	鉄筋アパート 南向き洋室		15
		木造南向き和室		12
質量	6.5	28	6.5	28
外形寸法 (高さ×幅×奥行) (mm)	245×740×167	530×660×240	245×740×167	530×660×240

- 仕様表は日本工業規格（JIS C9612）にもとづいています。
- 仕様に表示している暖房標準能力（kW）は、日本工業規格（JIS C9612）に定められている外気温7℃室内温度20℃で運転した場合を示します。寒冷地や特に外気温の低い場所で使用する場合は販売店に相談してください。
- 製品仕様は改良のため変更することがあります。
- 運転を停止したときもマイコンを動かすため約4ワットの電力を消費します。
- エネルギー消費効率の数値は冷房運転または暖房運転のときの消費電力当たりの冷房能力または暖房能力を表わしたものです。



保証とアフターサービス (必ずお読みください)

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびに、お取り扱い・お手入れに関するご不明な点は**お買い上げの販売店にご相談ください。**

ご転居されたり、ご贈答品などで
販売店に修理のご相談ができない場合

東芝家電修理ご相談センター



0120-1048-41

新製品などの商品選び、
お取り扱い・お手入れ方法などのご相談

東芝家電ご相談センター



0120-1048-86

携帯電話・PHSからのご利用は03-3426-1048

FAX 03-3425-2101 (365日 8:00~20:00受付)

電話受付：365日 24時間受付

※フリーダイヤルは、携帯電話・PHSなど一部の電話ではご利用になれません。

保証書 (別添)

- この東芝ルームエアコンには、保証書を別途添付しております。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証期間はお買い上げの日から1年間（冷媒回路部品は5年間）です。詳しくは保証書をご覧ください。

部品について

- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
- 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
- 補修用性能部品の保有期間
- ルームエアコンの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後9年間です。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

出張修理

ご使用中に異常が生じたときは、12,13ページの内容をお調べください。それでも異常が認められる場合は、13ページのチェックコードを確認してお使いになるのをやめ、電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。修理は専門の技術が必要です。

■保証期間中は

保証書の規定にしたがって、販売店が修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。


■保証期間が過ぎている場合は

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

■修理料金の仕組み

修理料金は技術料・部品代・出張料から構成されています。	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

■ご連絡いただきたい内容

品名	ルームエアコン	
形名 (本体・リモコン形名)		
お買い上げ年月日		
故障状況	できるだけ具体的に (チェックコード)	
ご住所	付近の目印等も合わせてお知らせください	
お名前		
電話番号		
訪問希望日		
便利メモ	お買い上げの販売店名を記入されると便利です TEL	

廃棄時のお願い

2001年4月施行の家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのエアコンを廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金(リサイクル料金)をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。



愛情点検

長年ご使用のルームエアコンの点検をぜひ！

このような症状はありませんか？

- ブレーカーやヒューズがたびたびきれる。
- 誤って異物や水を入れてしまった。
- コードやプラグの過熱やコード部分に破れがある。
- 運転音が異常に大きい。
- スイッチの動作が不確実。
- 運転中に焦げ臭いにおいがする。
- 室内ユニットから水が漏れる。
- その他の異常や故障がある。

ご使用の中止

故障や事故防止のため、電源プラグを抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検修理をご相談ください。

東芝キヤリア株式会社 空調統括部

〒416-8521 静岡県富士市蓼原336番地

SN:1075000636-②